

公益財団法人日本バスケットボール協会  
平成25年度 第6回理事会 議事録

日時：平成25年9月11日(水) 13:00～17:00

場所：JBAオフィス 8F会議室

出席：＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、佐古賢一、佐々木三男、庄司義明、鈴木秀太、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、水谷豊理事、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠席：麻生太郎会長、坂本昌彦、品田奥義の各理事

内山英司、上島正光の各特任委員

## 議題

- (1) 評議員候補者の推薦について
- (2) 組織振興費の支払いについて
- (3) 日本協会主催以外の国内有料競技会の納付金基準について
- (4) 第16回Wリーグ(2014—2015シーズン)募集要項について
- (5) 大会要項について
- (6) FIBA ASIA U-16選手権大会／東アジア競技大会 男子日本代表チームについて
- (7) FIBA ASIA選手権大会／東アジア競技大会 女子日本代表チームについて
- (8) 推薦名義使用について
- (9) オフィシャルマガジンTIPOFF 第4号の発行について

---

### 1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(24名)の過半数の出席数(出席:21名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

### 2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

---

### 3. 議事

議長は深津会長職務代行が務めた。

(1) **評議員候補者の推薦について**（堀井理事）

都道府県協会理事長退任等に伴う評議員の辞任に伴い、新たに都道府県協会から推薦された5名の評議員候補者を評議員選定委員会に推薦することが提案され、原案通り承認された。

尚、評議員の任期は4年間であるが、今回は特例的な措置であることが補足された。

<承認>

(2) **組織振興費の支払いについて**（堀井理事）

都道府県協会、9連盟、ブロックに対する振興費について、前年同様の基準にて支払うことが提案され、原案通り承認された。尚、公益法人化によりさらに組織運営の透明化が求められていることから、今後使途の明確化などあり方を見直す可能性もあることが補足された。

<承認>

(3) **日本協会主催以外の国内有料競技会の納付金基準について**（堀井理事）

基本規程に定められている国内有料競技会（無料競技会であっても第三者による特別協賛または協賛を伴う大会を含む）における納付金基準が提案された。入場料を徴収する有料競技会については提案通りで問題はないが、特別協賛または協賛を伴う大会（無料競技会）の基準をより明確にすることが求められ、現在行われている大会などを踏まえながら広く意見を聞いて再提案することとなった。

<継続審議>

(4) **第16回Wリーグ(2014—2015シーズン)募集要項について**（庄司理事・西井特任委員）

2014年秋から開催する第16回Wリーグの開催地募集要項が提案され、原案通り承認された。期間は2014年11月1日～2015年4月9日、ゲーム方式は今シーズン同様12チームによる3回戦総当たり戦となっており、分担金の設定が一部変更となった。

<承認>

(5) **大会要項について**（庄司理事）

「第65回全日本大学選手権大会(インカレ)」、「第6回全日本クラブシニア選手権大会／第6回全日本クラブスーパーシニア交歓大会」、「第27回都道府県対抗ジュニア大会(ジュニアオールスター)」および「第24回全日本女子車椅子選手権大会」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

尚、インカレについては、要項に天皇杯・皇后杯予選であることを追記することとした。

<承認>

(6) **FIBA ASIA U-16選手権大会／東アジア競技大会 男子日本代表チームについて**（佐古理事）

9月25日～10月4日に開催される「第3回FIBA ASIA U-16選手権大会」および10月7日～15日に開催される「第6回東アジア競技大会」に派遣する男子日本代表チームのスタッフ、選手が提案され、原案通り承認された。尚、東アジア競技大会については、若手の育成を目的とし、大学生での構成となった。

<承認>

(7) **FIBA ASIA選手権大会／東アジア競技大会 女子日本代表チームについて**（高橋理事）

世界選手権大会予選となる「FIBA ASIA選手権大会」(10月27日～11月3日@タイ・バンコク)に派遣す

る女子日本代表チームスタッフおよび選手12名が提案された。また、直前の「第6回東アジア競技大会」についても強化の一環として同メンバーを派遣することがあわせて提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) 推薦名義使用について（堀井理事）

バスケットボールを題材としたミュージカル「FAB FIVE」に対する推薦名義の使用許可申請が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(9) オフィシャルマガジンTIPOFF 第4号の発行について（堀井理事）

JBAオフィシャルマガジン「TIPOFF」第4号の発行について、稟議・起案決裁規程に基づいて理事会に提案され、原案通り承認された。

<承認>

---

#### 4. 報告事項

(1) 一般報告（堀井理事）

2013年7月および8月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（堀井理事）

次の内容について報告された。

- ・7月末現在の予算執行状況としては概ね予算通りとなっていること、また、前年度決算を踏まえて、今年度予算比収支5千万円の改善を目標として予算見直しによる費用削減策、増収策を実施中であること
- ・公益財団法人への移行および基本規程の制定に伴い、bjリーグを除く認定団体(旧:公認団体)との覚書を改めて締結し直す予定であること(bjリーグについては別途検討)
- ・今年度も10月～12月頃にかけてブロック連絡会を開催する予定であること
- ・チーム加盟数・競技者登録数は前年同時期に比較し伸びているものの、登録手続きの時期が年々早まっている傾向があること
- ・例年同様、天皇杯・皇后杯開催時に功労表彰を行う予定であること
- ・日笠敦さん(87歳・兵庫県協会推薦)が日本体育協会の「第8回スポーツグランプリ」を受賞したこと
- ・全日本柔道連盟での諸問題に関連し、公益認定等委員会から公益法人の自己規律についての声明が出されていること、また、日本体育協会、JOCからも加盟団体に対して同様の文書が発信されていること

(3) 事業戦略部（吉田(長)理事）

6月28日から30日に行った男女日本代表の国際親善試合の収支が報告されたが、予算での計上科目と決算での計上科目に入り繰りなどがあったことから、よりわかりやすく整理し、次回改めて報告することとした。

また、協賛事業関連では、2014年度以降の男子日本代表サプライヤー、男女日本代表パートナー、JBA主催・主管大会、エンデバー、ジュニアエリートアカデミー等の営業活動を行っていること、協働事業として実施しているバスケキッズフェスティバルや3x3については、次回理事会に来年度の要項などを提案する予定

であることが報告された。

(4) **3x3推進室** (吉田(長)理事)

7月20日、21日に開催された「FIBA 3x3 WORLD TOUR Tokyo Masters」および8月までに開催された「adidas 3x3 TOURNAMENT. EXE 2013」の開催報告があった。

また、8月末に開催を予定していた都道府県協会担当者説明会を9月21日に開催すること、3x3日本選手権のプレ大会を1月4日～5日に開催する予定であることなどが報告された。

(5) **総務委員会** (堀井理事)

役員候補者の選定に関する規程について、検討のポイントと今後の検討スケジュールが報告された。

(6) **競技会委員会** (庄司理事)

7月～8月に行われた各種全国大会および国際大会の結果および日本スポーツマスターズ、国体の組合せが報告された。

(7) **審判委員会** (吉田(利)理事)

今年度の審判員の海外派遣状況、国内での強化合宿などの実績および予定が報告された。

また、審判の育成並びに審査についての意見があり、審判委員会および審判審査委員会の役割分担などについて一度常務理事会にて論議することとした。

(8) **男子ナショナル委員会** (佐古理事)

8月に行われたFIBA ASIA選手権大会について、はじめに期待を裏切ることになってしまったことについてお詫びがあり、敗因としてはポイントガードの経験不足、リーダーシップの欠如、メンタル面などが挙げられ、また、この責任については常務理事会にて論議していただきたいとの話があった。続いて鈴木強化統括部長からも反省点は諸々あるが、結果が出ていないことが全てであり、責任問題については同様の対応をお願いしたいとの話があった。

これに関しては、想定外の成績であったことに対して非常に厳しい意見、今後に向けては、経験を蓄積した上で次に向かっていくことが必要であるが、現時点で詳細の総括が出来ていないことが遺憾である等の意見があった。

また、2020年の東京オリンピック開催決定に伴い、それに向けた強化計画も早急に立てるべきとの意見が出された。

(9) **女子ナショナル委員会** (大神理事・高橋理事)

7月に開催された「第27回ユニバーシアード競技大会」について、男女を通しての総括・課題・提言が報告された。

続いて、「第10回FIBA U-19女子世界選手権」では8位となったこと、「第21回日・韓・中ジュニア交流競技会」では3戦3勝となったことが報告された。

(10) **テクニカル委員会** (佐々木理事)

コーチコミッティーグループにおいて、E級、D級のコーチ養成講習会の教材として新たに教本の作成を進

めていること、9月21日～23日にU-14男女トップエンデバーの開催が予定されていること、また、ジュニアエリートアカデミーでは、トライアウトを実施し、10月に第1回目のキャンプを開催する予定であることが報告された。

**(11) 国体委員会**（野村理事）

長崎で行われた教員大会について、来年度の長崎国体のリハーサル大会として会場視察、準備状況の確認などを行ったことが報告された。

また、東京国体の予選会において京都成年男子の選手の参加資格違反が判明し、日体協へ報告の結果、当該選手の参加を認めないこととなったこと、また、JBAとしての措置については、規律・プレイクリーン委員会を開催して検討する予定であることが報告された。

**(12) NBL**（丸尾副会長）

NBL/NBDLの2014-2015シーズンについて、NBLでは広島ドラゴンフライズの新規参入、NBDLでは山形、東京、宮崎の3チーム（内、山形、東京は現NBDL加盟チームの会員権譲渡による申請）の新規参入が決定したこと、但し、宮崎については、給与未払いにより書類送検されている事実があり、その経過を注視していく必要がある旨が報告された。

また、NBLの審判ウエアについて、ゴールドウインとサプライヤー契約し、オリジナルデザインのウエアが提供されることになったことが報告された。

**(13) その他**（堀井理事）

前回の理事会において原田理事より質問のあった人件費について、過去5年間の実績と今年度予算を含めた推移が報告された。

また、暴力行為についての事案が報告されており、現在調査を行っていること、若年者の国際移籍違反によるシャンソン化粧品への対応については裁定委員会での協議が継続中であることが報告された。

**(14) その他**（福井理事）

2015年度の完全実施に向けて進めているコーチライセンス制度の改定について、中学、高校での義務化を懸念する意見が出された。既に制度改定については機関決定され、都道府県協会等にも通知されているものであるが、子どもたちのためにきちんと資格を取得してもらうことを推進するため、更なる方策を検討し、講じていくこととした。

以上